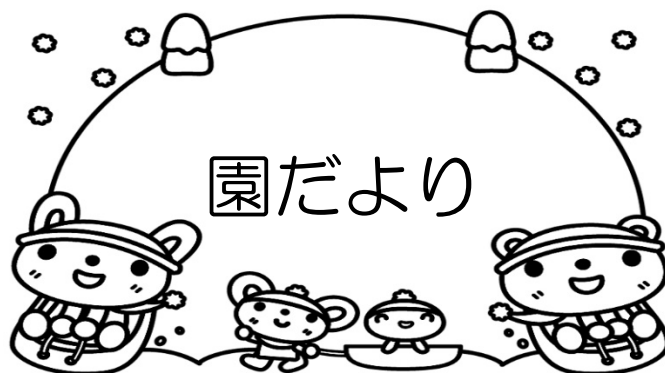


保護者の皆様



賢明幼第18-183
2019年1月30日
賢明学院幼稚園
園長 中原道夫

創立者のことば

神と隣人への燃え立つ愛によって、輝く太陽となってください。

(マリー・リヴィエ)

私を見てください

一年の集大成である三学期も、早くも三分の一が過ぎようとしています。今月が終われば秒読みのように、三学期が終わっていきます。園児たちは今年、「発表」という体験を積み重ねてきました。運動会では個人の力とみんなで演技する協力の姿を、発表しました。クリスマスには、救い主の誕生の出来事を、聖書を覚えて発表する事で学びました。観衆に心を伝える為には、一人ひとりの役が大切であることを学びました。今月は、自分で調べた事やグループで調べた事、英語で学んだことを保護者の前で発表します。

人前で話す事や、自分を披露することが得意な子もいれば、苦手な子もいます。人にはそれぞれ得意不得意があります。これからの時代、人前でPRESENTATIONする力が必要不可欠な能力とされるでしょう。今回の生活発表は、園児にとって人前で発表することを体験する大切な経験です。子どもたちが自信を持てるように、自分を信じて行動できるように見守って下さい。他者との比較からは、その子の独自性は生まれません。自分にしかない特性を、自分はよいものを持っているのだと自分を信じる力、自分は尊い存在だと気付く機会をもつようになるきっかけが、発表の時の保護者の反応です。自分には人と違う力を持っている自信は、発表を経験した子どもに対しての評価によって培われます。他者との比較ではなく、何が出来たかを保護者の心で観て、子どもを勇気づける評価をお願いします。生活発表によって、自分の力を信じる子どもに成長していく事を期待しています。

【創立者に倣う】

2月4日は、賢明学院の創立者マリー・リヴィエの帰天を記念して、祈りの一日を子どもたちは過ごします。

賢明学院の創立者は、孤児も・貧困の子も・裕福な子にも同じように接し、その子の特性を見つけ導きだし、良い所を精一杯伸ばし育てた教育者でした。発表の時に言葉を忘れたり、練習ではうまくできたのに本番では緊張のあまり、間違える子もいます。一見失敗と思われる出来事を叱責しては、成長の糧になりません。叱責を受ければ、周りの事ばかり気にしておどおどした子になっていきます。誰でも失敗はします。失敗を乗り越える事が出来る子は、失敗したことを叱責されるのではなく、うまくできた場面を褒めてもらった経験があり、自分を信じる事が出来るように、自分は素晴らしいと思えるように認められて育った子です。

創立者に倣い、わが子の良い所を見つけ伸ばす目で、生活発表会を参観しましょう。子どもたちには、まだ私たちが見つけられていない力があります。私と違う資質を持っているのが、わが子です。

私たち教師と保護者の仕事は、「自立し、有能で、責任感と他人への思いやりがあり、生涯学び続ける姿勢を持った人間に育てる」ことではないでしょうか。この目的を達成するため、子どもの発表をよく見てその特性を見抜きましょう。人間は成長と発達の法則にしたがって、自分自身を作ります。例え、自分が育んだ子だからといって、「ここに目をつけたのは私よ。こんな風に鼻を作ったのよ。」と言える母親はいないでしょう。

子どもは自然の発達の法則に従って、自らを成長・発達させる力を持って生まれてくるのです。ですから、子どもは自然の発達法則に則って、自信を持たなければ豊かな感性を持った人に成長しません。親や教師は、それぞれの子どもの力を認める心が必要となります。認めるとは、子どもの成長を援助し促すことです。過剰な援助は、発達の障害となります。発達の妨げになるような手助けではなく、発達をする援助が必要です。子どもたちが発表の為に取り組んだ練習と結果から、子どもが自信を持てるようになる言葉を見つけて、子どもを勇気づけましょう。

■ただ微笑むだけで、どれだけ幸せになれることか。 (マザー・テレサ/修道女)

■子どもはあなたの愛を待っているのよ。一対一のね。 (マザー・テレサ/修道女)

■子どもより大切な存在ってあるかしら？ (オードリー・ヘップバーン/女優)



2月のねらい

- ・ 冬の生活習慣を身につける。
- ・ 友だちと協力し、アイディアを出し合って工夫し、遊びを充実させる。

月の目標

満3

- ・ 楽しく表現活動に参加する。

年少

- ・ 生活発表会に向けて、友だちと一緒に取り組む楽しさを味わう。

年中

- ・ 友だちと心を通わせながら、劇遊びや表現活動に楽しんで取り組む。

年長

- ・ 友だちの良さを認め合い、互いに助け合って活動する。
- ・ 自分で考えて行動する力を身につける。



節分 豆まき 2月 1日(金)

今年も1年間、心も身体も元気で過ごせるようにと願って幼稚園で豆まきを行います。節分の福豆の欠片が気管支に詰まらせる事例があったため、今年度から幼稚園で豆は食べません。

マリー・リヴィエ帰天記念日 2月4日(月) 午前保育

クラスでマリー・リヴィエの絵本の読み聞かせや、聖歌「あいのほのお」を、歌いお祈りを捧げます。

生活発表会 2月 9日(土) 後日詳細



クラスごとに1部・2部に分けて行います。

実施場所→幼稚園ホール

発表内容	年少組・ふたば組	→	Englishsong・合唱
	年中組	→	英語劇・合唱
	年長組	→	世界の国についての プレゼンテーション・合唱
	年長・年中組	→	合同合唱

1部 ふじ組・うめ組・もも組・ふたば組
(登園 8:15 開演 8:45～終了予定10:00)

2部 きく組・ゆり組・ばら組
(登園10:30 開演11:00～終了予定12:15)

※2月8日(金)は前日準備のため午前保育。2月12日(火)は生活発表会の代休として休園です。両日とも預かり保育は実施しております。

**お別れ遠足 2月21日(木) 後日詳細(年長組・年中組→参加)
(年少組・ふたば組→通常保育)**

1年間一緒に過ごした友だちとお別れ遠足に出かけます。

行き先 キッズプラザ大阪

集合 8:40 (車での登園方法は後日詳細に記載いたします)

降園 通常の木曜日の降園方法と同じ



12・1月おつけものデーにご協力いただき、 ありがとうございました。

皆様からお預かりいたしました各献金は以下の通りに、送金させていただきました。

12月 1日（金）おつけものデー ￥25,815

1月11日（金）おつけものデー ￥26,352



※ 現在お預かりしておりますお年玉献金は、送金手続き中です。
次回に報告させていただきます。

保護者対象の研修会の案内

大学入試制度の大幅な改革が2020年から実施されることになりました。2020年に大学入試センター試験が廃止され、新しい大学入試へと切り替わります。これは単純に大学入試だけが変わるという話ではなく、高等学校、中学校、小学校の改革へと連鎖していくこととなります。当然小学校教育も変わります。いったいどのような入試改革が行われるのかを、保護者もよく知ってお子様の将来を考えていくべきでしょう。正しい情報を知れば、改革の言葉だけが耳に入り不安になったりあわてたりすることはなくなります。

幼稚園や小学校の保護者こそ、大学入試を視野に入れてお子様にあった進路を、今から計画する必要があります。そこで今回下記の要綱で大学入試改革についての講演を企画しました。ぜひご参加ください。講師には大学入試制度改革の第一人者の尾木義久先生をお願いしています。

小さなお子様も一緒にお入りいただけます。

【タイトル】	大学入試 何が、どこが、どのように変わる
【講師】	関西学院大学 高大接続センター次長 高大連携課課長 学長特命 尾木義久 様
【概略】	・では、どのような入試問題になるのか ・大学はどのような学生を求めるのか ・理系学部学科が求める学生とは ・文系学部学科が求める学生とは
【計画】	
月 日	2019年2月16日(土)
時 間	10:00~11:30
場 所	リヴィエホール

※新たに参加ご希望の方は担任までお知らせください。